

街を、暮らしを、
社会を支える
京セラの**総合力**。

Devices & Equipment

デバイス・機器

空圧・電動工具



医療用製品



IoT通信機器・モジュール



プリンティングデバイス



プリンター・複合機



液晶ディスプレイ



エネルギー製品



スマートフォン



エネルギー管理システム・サービス



ICTソリューション



ECMソリューション



通信エンジニアリング



環境エネルギーエンジニアリング



Systems & Services

システム・サービス

Materials & Components

素材・部品

パワーデバイス



自動車部品



コネクタ



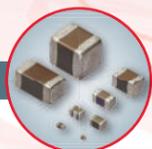
切削工具



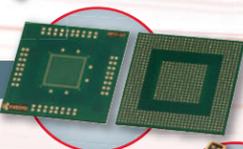
光学部品



コンデンサ



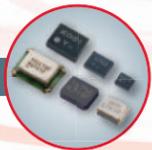
有機パッケージ・プリント配線板



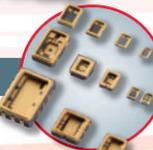
有機化学材料



水晶デバイス・SAWデバイス



セラミックパッケージ・基板



ファインセラミック部品



あらゆる人やものをつなぐ情報通信市場、
ICT化が急速に進む自動車関連市場、
地球の環境保全に貢献する環境・エネルギー市場、
人々の安心・安全な暮らしを支える医療・ヘルスケア市場など、
ますます拡大するIoT (Internet of Things) 社会の
中核をなす分野において最先端の製品・サービスを提供しています。
京セラはこれら4つの市場を重点市場と定め、
さらに便利で、持続可能な世界の実現のために、
グループの総合力で、価値ある製品・サービスを届け続けます。

情報通信市場



自動車関連市場

環境・エネルギー市場



医療・ヘルスケア市場



お客様の期待に応えるために、常に**開拓者**であり続ける。

京セラグループは、それぞれの事業領域において、開発、製造、販売、さらに物流など、すべての部門が一丸となり連携することで、最先端の製品・サービスを世界中に提供し続けています。その源泉となるのは、日々の弛まぬ努力と創造的な仕事により培う高い技術力。お客様の期待に応えるために、私たちは、常に開拓者であり続けます。

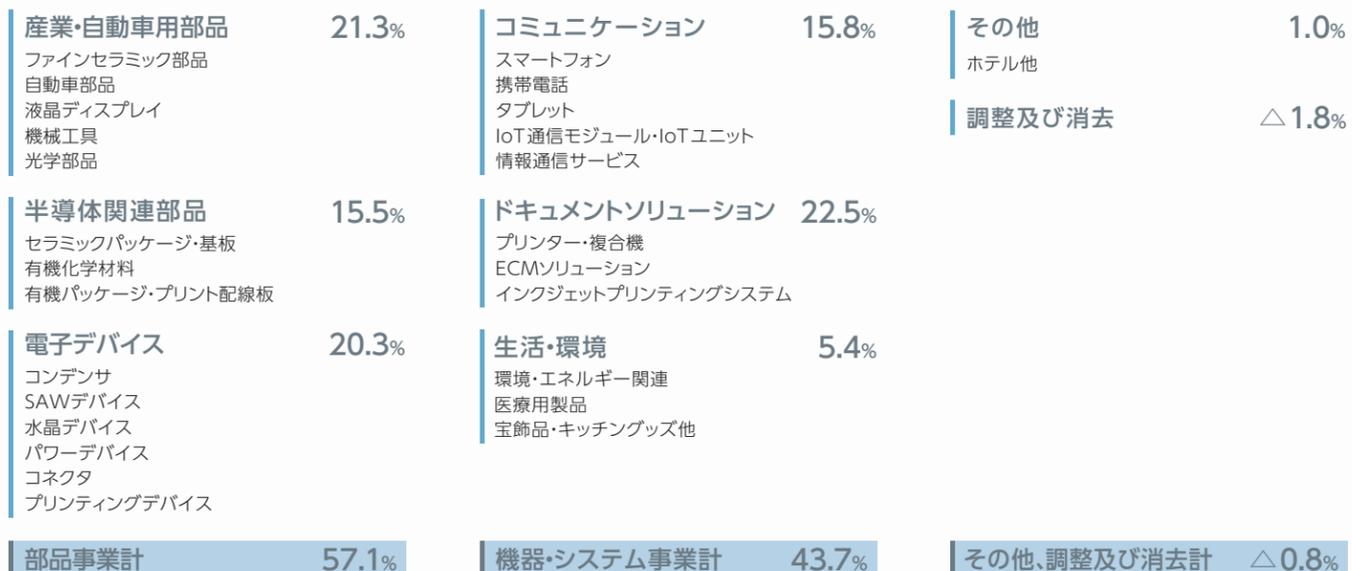


THE NEW VALUE FRONTIER
KYOCERA

“The New Value Frontier”は「新たな価値をいつも最先端で創造し続ける」という京セラの意志を強く世の中に宣言する言葉です。京セラはグループの総合力を発揮し、時代や市場が求める価値を独自の技術と視点で切り拓きカタチにします。

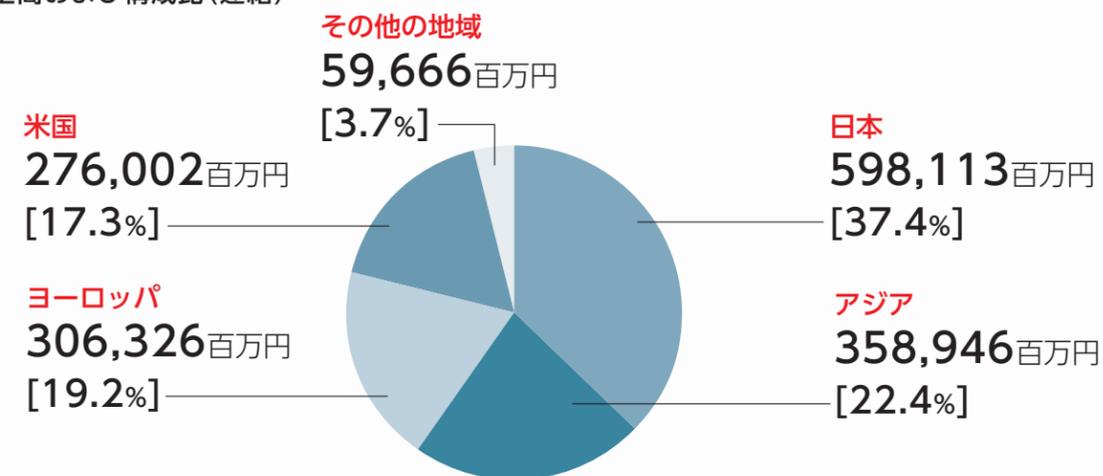
>> 事業セグメント別売上高構成比(連結)

売上高 1,599,053百万円 (2020年3月期)



>> 地域別売上高および構成比(連結)

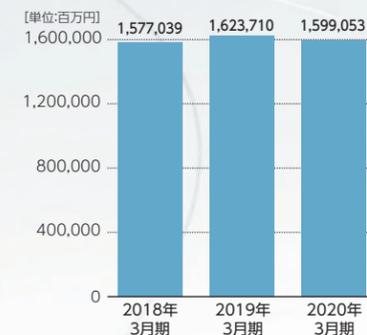
[2020年3月期]



>> 会社概要 [2020年3月31日現在]

社 名：京セラ株式会社
 設 立：1959年4月1日
 資 本 金：115,703百万円
 グループ会社数：298社(京セラ(株)を含む)
 グループ従業員数：75,505人
 (持分法適用子会社、持分法適用関連会社は除く)

売上高の推移(連結)



税引前利益、親会社の所有者に帰属する当期利益の推移(連結)



※2019年3月期より国際財務報告基準(IFRS)を適用しています。この変更に伴い、記載の2018年3月期の経営成績についても米国会計基準からIFRSに組み替えて表示しています。